



ひだまり

理事長あいさつ

第9号

新年あけましておめでとうございます。

昨年また「新型コロナ」にかき回されましたが、皆様には、元気に明るいお正月を迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年「ゆーあい工房」では、利用者や保護者等に「新型コロナ」の感染者がいましたが、職員・保護者の迅速かつ適切な対策処置により、職場内での拡大を未然に防止する事が出来ました。ご協力頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

「コロナ禍」により、昨年も各種行事等が中止や内容変更等になりましたが、「ゆーあい工房」の業績については、「いちご一会・とちぎ大会」の開催や、協力企業等のご支援を頂き、大幅な落ち込みを避けられました。ご協力頂き有難うございました。

また、今年度に計画しております「第2グループホーム」(仮称)につきましては、その建設資金として寄付金の要請をいたしましたところ、お陰様で目標額を上回る現況であります。ご協力頂きました皆様に心から厚くお礼申し上げます。

今年こそは、「新型コロナ」が収束し、通常の事業活動が出来る事を願い、楽しく明るい職場環境の中で、仲間たちが元気で仲良く、そしてお互いに励まし合いながら各種活動・作業に従事出来るよう期待しております。

終わりに、私の7回目の寅年を迎えた昨年は、新型コロナを収束する事なしの過ぎ去ってしまいました。現代は人生100年と言われておりますので、次回の寅年まで元気に長生き出来ればと思います。そしてまた皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げますと共に、「うまぐりの里」に本年も引き続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

理事長 岩川 和男

保護者会長あいさつ

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から法人関係者の皆様には、保護者会の活動に対しまして多大なるご協力とご理解を賜り、誠に有難うございます。

さてコロナウイルスの感染者が中国で初めて確認されたのが、2019年12月8日でした。日本で初めて確認されたのは2020年1月15日で、すでに3年間以上コロナとの付き合いが続いていることとなります。ワクチン接種も4回目、5回目となった方が多いのではないのでしょうか。

この間、各種の活動がほとんど中止となってしまう、仲間のみなどと楽しく過ごす機会が無くなってしまったことがすごく残念です。今年はなんとか行事を開催できるように工夫をして、仲間の皆に今までのような笑顔が戻るようにしてあげたいと考えています。その節は皆様にも再度ご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、法人の益々のご発展と関係各位の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りして新年のご挨拶とさせていただきます。

ゆーあい工房保護者会長 佐野 義晴

「おかし、おかし…」

この「ひだまり」が皆さまのお手元に届くのは令和五年のまだ鏡開き前のことと思います。そこで県北矢板市で生まれ古希を過ぎた今、育った家のお正月や小さい頃の冬の生活を思い出しながら書いてみました。

実家は神葬祭なので、お正月は「雑煮」ではなく当主(父)が作った赤飯と塩引き鮭の粕汁でした。大晦日の夜子どもたちは気持ちよく寝ていたところを、年が改まる午前0時に起こされ、眠い目をこすりながら赤飯と粕汁で新年を祝うのです。赤飯が炊き上がると父が「お稲荷さん」「薬師堂」「六地藏さん」「神棚」に供えます。その役目を女性がすることはありません。女性は生理や出産等で穢れているなどと言われていた時代でした。正月料理としては「さがんぼの煮つけ」「松前漬け」「お煮しめ」は必須でした。その頃は「さがんぼ」がアブラツノザメ、「モロ」がネズミザメというサメの身だということは知る由もありません。「しもつかれ」と共に日本中で食べられていると思っていました。

そして冬仕事の一つ「木の葉さらい」はご存じですか？昔は山の落ち葉を熊手で集めて家に運び、肥料にしたり苗床を作りました。両親はリヤカーに子どもたちとおにぎりとけんちん汁の鍋を積んで山へ出発します。子どもたちが遊ぶのに飽きたころお昼のサイレンが聞こえ、父が木の枝で作ったお箸で、温めたけんちん汁を食べおにぎりにかぶりつくのです。経済的に豊かではない時代でしたが、ひたすら働き続ける両親といつも一緒にいられた幸せな年代でした。

最後に皆さまにお伺いしたいことがあります。栃木市に住むようになってから友達に、元日は学校へ行って、「年の始めの試しとて」という歌いだしの「一月一日」を歌い、帰りにみかんをもらって帰ってきたよねという話をしたときに、「知らない」といわれ驚きました。宇都宮以北の65歳以上の方に話すと盛り上がるこの話題ですが、地域・年齢によるらしいこの件について、詳しくご存じの方がいらっしゃいましたらぜひご教示お願いいたします。

うまぐりの里評議員 大塚 町子



【熊手】



【背負いかご】

コラム「虹色のペンシル」 第9話



我が家のお家時間

アダ・パレデス(パレデス・ケンジさん母)



新型コロナウイルス感染症の流行から早3年が経とうとしていますが、未だその終息は見えません。私たちはこの流行のせいで、多くの我慢を強いられ、そこで生じるいろんな不安やストレスと上手に生活しなければなりません。ちなみに我が家ではストレス発散法として、よく山登りへ行きます。家の近くには大平山という大きな山があり、頂上まで二時間かけて登ります。頂上の空気はすごく澄んでいて、そこから見える景色もとても綺麗で、疲れも吹き飛んでしまいます。また、家の中ではよく息子とケーキやパンを作ります。私は、昔からケーキ作りの仕事をしてきましたが、パンデミックを機に新しいことに挑戦してみたいと思い、パン作りの勉強もはじめました。パン生地を膨らませたりするのは難しく最初は失敗しましたが、今ではいろんな種類のパンを焼けるようになりました。息子と一緒に焼いたパンは家族みんなで美味しく食べています。新型コロナの流行と上手に付き合っていくためにも、これからも新しいストレス発散法を見つけて、楽しく家族で過ごしていきたいと思っています。

第1回 虐待防止・身体拘束等適正化研修

令和4年12月3日(土)に、ゆーあい工房にて「第1回虐待防止・身体拘束等適

正化研修」を全職員対象に行いました。

内容としては、障がい者施策の歴史を学び、法人の虐待防止マニュアルの読み合わせや小グループに分かれて「不適切な支援(グレーゾーン)についての意見交換会」、それぞれの職員が虐待防止チェックリストの記入等、虐待についての基本的な知識を学び、また、どこからが虐待になるのか、虐待が起こらないために何をしたらいいかについて考えました。

また、身体拘束について、適正化のための指針の読み合わせを行う等の内容で、約2時間の研修会を行いました。

感想として、虐待に関する知識を身につけ、虐待が起こらないようにすることは大切なことではありますが、虐待が起こらないことを考えるより、職員一人一人の支援の質を上げることや職員をひとりにならないチーム支援が最も大切なのではないかと研修後に思いました。

日頃から仲間みなさんに寄り添い考え支援すること、職員がそれぞれの立場でやるべきことや支援の在り方について考える研修になったと思います。

サービス管理責任者 渡邊 啓之



保護者会活動報告

ゆーあい工房ホールにて、保護者会主催の「健康体操教室」が開催されました。コロナの感染拡大により開催が遅れていましたが、10月29日に1回目、12月17日に2回目を開催することができました。

佐野市のスポーツプラザでジムインストラクターとして25年勤務され、その後、佐野市の介護予防運動教室で介護予防運動指導員として活躍されている串田 智恵子(くした ちえこ)さんを講師にお招きし、行いました。

1回目には17人、2回目は14人の参加があり、「かんたんストレッチ」や「楽々筋カトレーニング」、「脳トレ」などを行いました。とても、和やかな雰囲気の中で、体を動かし、有意義な時間を過ごすことができました。

参加者の感想と活動中の様子は、下のとおりです。

【参加者の感想】

- ・体が動いて、楽になった。
- ・体操を間違えても、笑いながらできるからいい。
日常で笑うこともなかなかないので…。
- ・体と頭の体操になった。



第22回全国障害者スポーツ大会いちご一会とちぎ大会

オープン競技

車椅子ダンス フォーメーション・ダンス部門 出場

安生拓也さん・安生和子さん(お母様)

期日:10月30日(日)

会場:栃木市西方町総合文化体育館

主催団体:特定非営利活動法人全日本車椅子ダンス協会

拓也さんは、フォークダンスを指導するご両親のもとに生まれましたので、幼少の頃からダンスは生活の一部となっています。音楽が流れると体を揺らしながら自由なステップを踏んでダンスを楽しむ。自己流なダンスがお得意。

今回栃木県で行われた「第22回全国障害者スポーツ大会いちご一会とちぎ大会」の車椅子ダンスの中、フォーメーション・ダンス部門で出場してみたいと本人が希望されました。それを聞いたお母様は「ホントに自分で踊りたいって言いましたか!？」と一瞬驚きましたが、いちご一会とちぎ大会で踊ることはとても貴重な経験になると、親子で出場を決めました。

何日も練習を重ねた結果、本番では、会場のあちこちから「可愛い〜」、
「あんなダンスも踊りたい!」などざわめきが起こり、踊りきったあとは、練習の成果を存分に発揮した拓也さんの表情はとても晴ればれとしていました。

表彰式では、銅メダルと記念の賞状が授与されました。審査員からは「踊りも衣装も可愛かったで賞」と講評を頂きました。

貴重な大会出場は、親子で生涯の良い思い出となったことと思います。



いちご一会栃木大会車椅子ダンスに参加して

おふたいからの感想

令和4年10月30日西方文化体育館において第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会栃木大会」オープン競技車椅子ダンスに参加しました。車椅子ダンスを見たこともない経験したこともない親子が体験した話です。工房の中村施設長さんから拓也君が「車椅子ダンスに出たい」と手を上げたという事で参加申込したと言われた。ほかの人は誰も参加しないのでお母さんパートナーをお願いします。と告げられた。演目は「365日の紙飛行機」。CDは拓也が用意してくれた。「えーやるの?」「できるかな?」毎日不安がよぎっていた。「どうしょう?」「わたしが車椅子に乗りたい」「でもできるかな?」そんなことを知らない拓也は暇があると「365日の紙飛行機」の音楽をかけてリズムカルに身体を動かしている。私は一週間前から少しでも軽く踊りたいので炭水化物は減らして、野菜とタンパク質をとることにした。いよいよ当日9番目の出番になった。

拓也はオレンジ色のTシャツ黒ズボンにサスペンダー、私は黄色のスカート紺色ベスト着て一生懸命に踊った。それなりの出来栄え。結果は参加賞でした。

「衣装も踊りも可愛かったですよ」とサブタイトルをいただきました。「終わってよかった。」「拓也有難う」「会場に応援に来てくれた拓也のお父さん有難う」

安生 和子

いちご一会栃木大会車椅子ダンスに参加して楽しかったです。

お母さんと僕で「365日の紙飛行機」を踊りました。

上手に出来ました。

ダンシングヒーローのチャチャが楽しかったです。またやりたいです。

表彰式で銅メダルをもらいました。

フォックストロットとスロールンバの踊りが楽しかったです。



安生 拓也

利用者紹介

加藤 文子(かとう ふみこ)さん

現在、GHなごみの家で生活をされています。いつも優しい笑顔で、工房のお母さんの存在の加藤さんに癒されている仲間も多いです。また、生活介護プログラムと木工作業・受注作業に取り組む他、縫物が得意でお手伝いをしてくれています。

入所して24年になりますが体操や軽運動に一生懸命取り組み、健康に気を配りながら元気に活動されています。そこで健康の秘訣を聞いてみました。

- ・気づいたことをマメにやる。(お裁縫やお掃除など)
- ・作業を一生懸命やる。(受注作業が好きです)
- ・指を使う作業を頑張る。(ちぎり絵やペットボトルのキャップ外しが得意です)

素晴らしいですね(^▽^)/

最後に加藤さんのおすすめのスポットを紹介합니다。昔から大好きな場所、栃木太山寺のしだれ桜❀ぜひ行ってみてください。



高田 信也(たかだ しんや)さん

現在、GHほうれん荘で生活し、GHから40分かけて自転車で通っています。

入所して20年、仲間たちに優しく、力持ちの高田さんはみんなから頼りにされています。工房では、生活介護プログラムと木工作業に取り組んでいます。

プログラムでは散歩を楽しみにしていて積極的に参加されています。今回はおすすめを紹介します。

第1位・小山市の乙女互の里公園 第2位壬生町・城址公園
第3位大平町・運動公園 です。

そしてもう一つ楽しみなのが給食とのこと。こちらも好きなメニューを紹介します。

第1位・唐揚げ 第2位・ホワイトシチュー 第3位・カレー です。
みなさんは何が好きですか？コロナで大変だけど楽しく過ごそう！と笑顔の高田さんです。



「つぶやき」

就労継続支援B型事業の販売活動において、売り上げ総額から原価や必要経費を引いた利益は、利用者の方々に工賃として配分することになっています。昨今の物価や原材料費・水道光熱費の高騰により、その工賃への影響が徐々に出ています。そして、荒川家にも非常に深刻な影響が出ています。

それは「マヨネーズ」です。現在、某メーカーのマヨネーズは定価で250円前後で販売されています。(数年前までは、その半額で売っていたことを、どれだけの方が知っているでしょう...)その為、各所スーパー・ドラッグストアの特売日の確認は欠かせません。特売日に買えるだけ買い、ストックしています。

ちなみに、皆さんのお宅では、どのメーカーのマヨネーズを使用していますか？メーカーにより、酸味やコクが違うので、料理によって使い分けることをオススメします。

大手メーカーですと「K」派と「A」派に分れると思います。その違いが判るようになれば、真のマヨラーを名乗れると思います。私は、違いが判る男です。

支援員 荒川 直人

活動紹介 ～木工作業～

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の取り組み

今年の木工作業は、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会一色の1年でした。とちぎ国体では、とちぎセルフセンター様を通じて、栃木県国体・障害者スポーツ大会事務局様よりとちのきコースター2万枚のご注文を頂いた事を皮切りに、特別協賛企業への感謝盾として木製の表彰盾1個、栃木市の国体推進課様から特注のキーホルダーを2,100個のご注文を頂きました。障害者スポーツ大会では、大会用景品として大同生命保険(株)様より、認定NPO法人トゥギャザー様を通じて、キーホルダー200個とマグネット300個、車椅子ダンス協会様からキーホルダー100個のご注文を頂きました。実施期間中は、オリジナルキーホルダー(とちまるくんキーホルダー)等も販売し、大会を盛り上げました！



支援員 大久保美穂



活動紹介 ～菓子作業～

～滝澤ハム直営店「美食の森・レッケルバルト」～



今回の菓子作業からは、月曜日～金曜日までパンを納めさせていただいている「(株)滝澤ハム 美食の森レッケルバルト」様のご紹介をします。

滝澤ハムは、大正時代に創業し「より良い食品を通じて食文化の向上と健康増進に貢献する」という理念を掲げて安心・安全な商品を製造販売している会社です。代替えエネルギーに太陽熱を利用するなど、環境問題にも積極的に配慮した取り組みを行っている点でも注目される栃木市が誇る優良企業です。

滝澤ハム様は、地域福祉に深い理解を示され、私たちの販売活動に対しても多大なご理解とご協力をいただいております。現在ゆーあい工房のパンは、日替わりの商品を含めると毎日15種類・100個ほどを納めさせていただいております。店内に納品に伺うと、色々な種類のお肉や手作りのお惣菜が並び、店員さん達の「いらっしゃいませ！！」の明るい声が響きわたり、とても活気を感じますが、どこか高級感が漂うお店でもあります。

お店の中に焼きあがったばかりのパンを並べているとお客様から声を掛けられることが度々あります。「この間買ったあのパン・・・なんだっけ？えーと・・・バターロール！美味しかった！」とお話してくださる方や、「このパンが好きなんだよね！」と指をさしながら教えてくださる方々など。このようなお客様からの嬉しいお声が利用者も私達職員も何よりの製造の励みになっております。これからも皆様の食卓へ美味しいパンをお届けできるよう利用者と一緒に頑張ります！

支援員 小林 倫子

活動紹介 ～受注作業～

～『第一包装株式会社』様のご紹介～

受注作業の委託先である第一包装株式会社そして、山口さんの紹介をしたいと思います。

第一包装株式会社は東京都足立区に本社、佐野に営業所があり、お土産品の菓子箱などを製造しています。ゆーあい工房では、主に関東周辺のお土産品の菓子箱を組み立て、梱包をする作業を受託しています。

また一方で、ゆーあい工房で使用する木工作業の干支商品・市の成人式記念品・婚姻、出産記念品等の化粧箱の製造を依頼しています。

次に山口さん(取締役)を紹介したいと思います。山口さんとは、第一包装の受注作業を開始した平成19年からのお付き合いになります。いつも元気で大変気さくな方で、仲間からも大人気です！コロナ禍になる前は、工房まつりの準備や運動会にボランティアとして協力して下さるなど、受注作業の関係ばかりでなく、ゆーあい工房との関りも深い方です。

支援員 佐々木竜也



抗菌・抗ウイルス施工 完了

マイクロバスに抗菌・抗ウイルス無光触媒コーティングが施されました！！

この度、小山市若木町にある株式会社井上建設工業様のご厚意により、送迎で使用しているマイクロバスに「抗菌・抗ウイルス無光触媒コーティング」を無償で施工していただきました。

12月中旬に井上社長自らゆーあい工房にお越しになり、約1時間の工程で、実に手際よくコーティングが完了できました。見た目やにおいなどは全く施工前と変わりませんが、万一新型コロナウイルスが付着しても、約5分後には完全に消滅するというパワーがあると聞き、驚きと同時に第8波の最中にある現在では、本当にありがたい限りです。お陰様でこれからは、安心な環境で利用者の送迎を実施することができます。誠にありがとうございました。

井上建築工業様の施工の様子専用のチラシをお載せしましたので、関心のある事業所は問い合わせをしてみてもはいかがでしょうか。

ゆーあい工房施設長 中村君枝

無光触媒
抗菌
抗ウイルス

無光触媒コーティング3つの特徴

- 最長5年間効果持続
- 人体に安心安全
- 暗所でも効果を発揮

主な施工事例

- 小山県立文化センター
- 白鷺大学
- 小山市役所 新庁舎
- 小山市立病院
- 小山県立若木小学校
- 小山県立体育館

井上建設工業 0120-487-046



【作業の様子】



【抗菌証明ステッカー】



7/16
風鈴づくりと
体力測定

10/23
スタンドグラス作りと
ミニ縁日



11/17~12/1
真岡方面日帰り旅行



皆さまからいただいた寄付金について報告します。

令和4年9月～12月の期間中に、(仮称)うまぐりの里第2グループホーム建設資金に対し、90件の方から、総額「4,670,000円」の寄付を頂きました。あたたかいご支援を賜り、誠にありがとうございます。来年度建設予定である第2グループホームのため、大切に使用させていただきます。

利用者家族(1件は法人役員で計上)	31件		2,000,000円
法人役員	14件		460,000円
職員他(1件は法人役員で計上)	13件		250,000円
職員親睦会による収益活動	2件		300,000円
関係企業、協力者	30件		1,660,000円
アサヒ電気商会 様	10,000円	滝沢ハム株式会社 様	1,000,000円
伊藤電機株式会社 様	10,000円	有限会社栃木衛生実行社 様	10,000円
有限会社上野設備工業 様	30,000円	栃木グランドホテル株式会社 様	20,000円
エコワークス株式会社 様	10,000円	栃木清掃サービス株式会社 様	10,000円
おざい事務所 様	50,000円	有限会社栃木大気堂 様	10,000円
株式会社カシワヤ 様	10,000円	栃木地区浄化槽公社 様	20,000円
ケーブルテレビ株式会社 様	50,000円	有限会社長江木材 様	10,000円
株式会社サカエ工業 様	30,000円	有限会社ナガサワ 様	20,000円
佐々木金蔵 様	10,000円	中村美知子 様	30,000円
有限会社猿山工務店 様	10,000円	日星石油株式会社 様	30,000円
三協コンピューター株式会社 様	10,000円	株式会社日本栄養給食協会 様	50,000円
株式会社新交通 様	100,000円	茂木機工株式会社 様	10,000円
親和防災商会 様	20,000円	やすらぎ 様	20,000円
須田商事株式会社 様	20,000円	ヤマサン木材株式会社 様	20,000円
第一包装株式会社 様	20,000円	和田商店 様	10,000円
合計	90件		4,670,000円

ご誕生

林田評議員(第一子ご子息) 帆丘(ほだか)さん 10月27日
 内海監事(第一子ご子息) 暁斗(あきと)さん 10月21日

ご誕生おめでとうございます！

お悔み

中村施設長(義父) 中村 昭一 様 12月18日 逝去
 ご冥福をお祈りいたします。

社会福祉法人うまぐりの里

法人本部、障害福祉サービス事業所ゆーあい工房
 相談支援事業所めだか

〒328-0033 栃木市城内町2-62-14

TEL 0282-25-4001

Fax 0282-25-1575

E-mail yu-aikoubou@cc9.ne.jp

ホームページURL: <http://www.cc9.ne.jp/~yu-aikoubou/>
<https://www.umagurinosato.com/>

共同生活援助事業所なごみの家

〒329-4412 栃木市大平町北武井655-3

TEL・Fax 0282-21-7800

●編集後記●

新型コロナに明け暮れた令和4年でしたが、新年
 兎年は、喜楽が跳ねる年となりますように。

関係各位、訪れる暖かい春を待ちながら、どうぞ
 健やかに過ごして下さい。

ひだまり第9号の発行にあたり、ご協力頂いた
 皆さまに感謝を申し上げます。

●編集スタッフ●

うまぐりの里常務理事 中村 君枝
 ゆーあい工房支援員 大久保 美穂
 ゆーあい工房支援員 荒川 直人
 ゆーあい工房支援員 小林 倫子